

# Life in Chichester

No.1 Tue. 14 Feb. 2012

## 出発の朝



今年のイギリス研修は20人の学生の大所帯となり、朝7時の集合に遅れる学生はいないかと心配したが、杞憂に終わり、中には6時半前に到着していた人もいた。緊張と期待といろいろなものが混ざり合っていたんだと思う。この緊張を最後まである程度継続して持ち続け、楽しく得ることの多い研修にしてもらいたいものである。

日本を離れ、イギリスのヒースロー空港に午後2時半に到着。その後、空港を出るのに1時間を要し、一路チチェスターへ。12時間の飛行を終えてのバス移動、約1時間半。かなりの

移動距離である。大学に着くとみんなの顔には疲労の色も見えていたが、ホストファミリーの迎えがくると自然と笑顔になっていた。

到着2日目。午前中は、大学の案内とプログラムの紹介、説明があり、student cardを作成してもらい、やっとチチェスター大学の一員となった。今週は、「half term week」というイギリス独自の学期の中休みで、常磐の学生以外はほとんど休みなので、授業を受ける建物はかなりひっそりしている。でも、来週にはいっぺんに学生が戻ってくるため、かなりの賑わいとなる。

その後、初の大学カフェテリアを利用し、昼食。このチチェスター大学に去年はなかった「Subway」ができたので、

もう一つ昼食のチョイスが増えた。でも水戸に「Subway」はないため、そのお店自体を知らない学生も多く見られた。ちなみに知らない人のために、少し説明すると「Subway」は、サンドイッチ屋さんでサンドイッチに入れるカウンターに並ぶ野菜やドレッシング類の具材を選ぶところで、それぞれが好きなものを入れていくことができます。上の写真の案内をしてくれた Tina さんによると大学の近くに大きな寮も建設中で、今年の秋には完成し、これから増えるだろう学生を受け入れる体制が整うとのことだった。午後からは、チチェスター市内の案内をしてもらい、市の図書館、郵便局、大聖堂、銀行などの主要な場所を教えてもらった。



## 大学案内の様子



←Googleでチチェスターの地図を印刷し、大作を作成。自分のステイ先から大学の行き方を調べていた。実際に住んでいる場所を上からとらえたことはないため、この地図には、イギリス人もかなりの驚きようだった。(中西)